

近鉄八木駅

重要伝統的建造物群保存地区  
橿原市今井 寺内町「今井」町並 Walk  
2013.5.25.

近鉄八木西口駅

JR桜井線

飛鳥川

近鉄八木西口駅

奈良 下街道(大和高田/五条・和歌山) 国道166・24

Image © 2013 DigitalGlobe

Google earth

戦国時代の街並みがそっくり残る重要伝統的建造物群保存地区

橿原市今井町 寺内町「今井」walk 2013.5.25.



「今井」の街並み  
戦国時代の街並みがそっくり残る重要伝統的建造物群保存地区「今井」の街並み。この地区は、戦国時代の街並みがそっくり残っており、重要な伝統的建造物群として保存されている。この地区は、戦国時代の街並みがそっくり残っており、重要な伝統的建造物群として保存されている。



橿原市今井町 寺内町「今井」 walk 2013.5.25.

# 重要伝統的建造物群保存地区 橿原市今井 寺内町「今井」町並 Walk

2013.5.25.



**今井・寺内町**  
重要伝統的建造物群保存地区

今井町は、東の飛鳥川、西の曾根川に挟まれた海抜約六十三米にあり、大和三山が見渡される位置にある。十六世紀中頃には、一向宗の寺内町として発足したが、再度の戦火をへつ、商業都市としての姿をとり、江戸時代は大いに栄えた町である。

町年寄の合議制で運営され、郡と並ぶ自治都市であった。周囲を濠と土底で囲み、九つの門を開いた環濠集落の形態をとっていた。

旧環濠内には、今なお約六百五十戸の江戸時代以降の伝統的の様式を保つ町家が、古い町割りも相まって残存しており、これ程整った地区は、全国的にも例がなく、平成五年十二月「重要建造物の選定を受けている。

地年寄を助めた今西家（慶安三年建設、重要文化財）を始め多くの指定建造物があり、これらに準じる町家も多く残っている。

中世の環濠集落を発祥とし、称念寺を中心とした寺内町として発展した「今井」。江戸時代にも自治が行われてきた日本でも極めて珍しい歴史を持つ町。

戦国時代には高い軍事力を誇った今井町は環濠で囲まれており、あたかも城塞都市の雰囲気。

織田信長と敵対して、本願寺とともに抗戦の構えも見せたが降伏し、町存亡の危機に直面したが、今井町ゆかりの今井宗久らのとりなしもあって町はそのまま残され、商業都市として引き続き発展。

現在もその広大な領域に戦国時代、江戸時代からの町並みと道路がそのまま残っている(基本的には16世紀のままと聞く)。

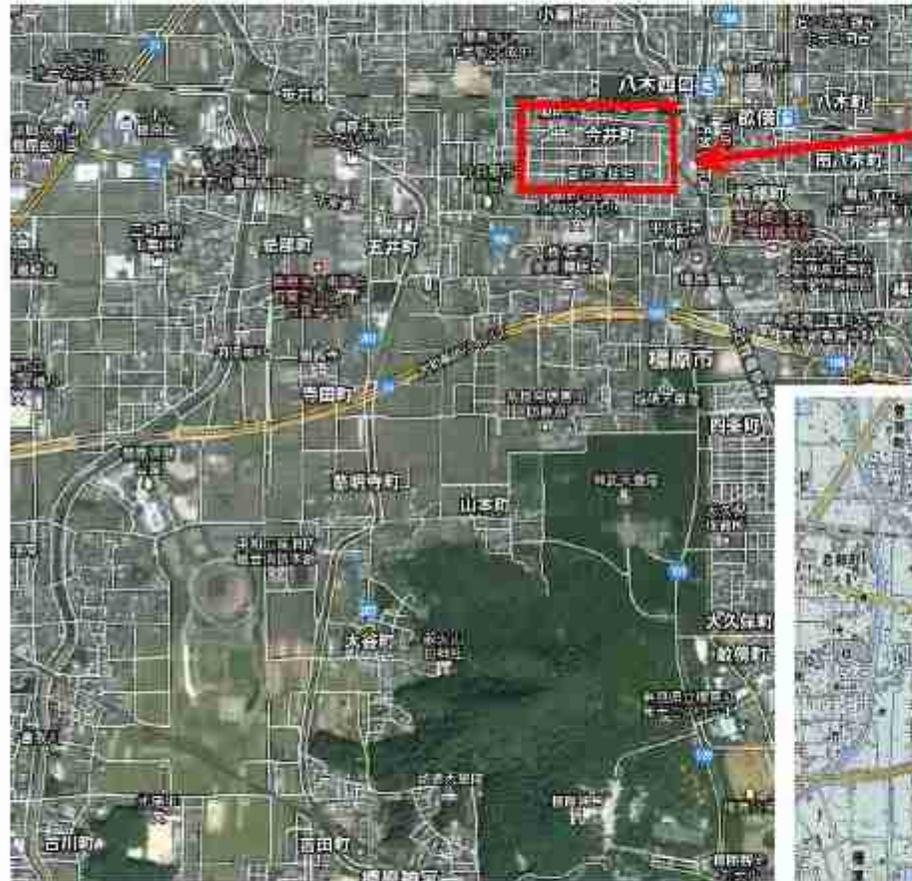
1993年に重要伝統的建造物群保存地区に指定され、約500棟が昔からの建築であり、重要文化財8棟、県文化財2棟、市文化財4棟がある。

現在も一般の方々が生活する、生きた町であるのも魅力。

# 戦国時代の街並みがそっくり残る重要伝統的建造物群保存地区

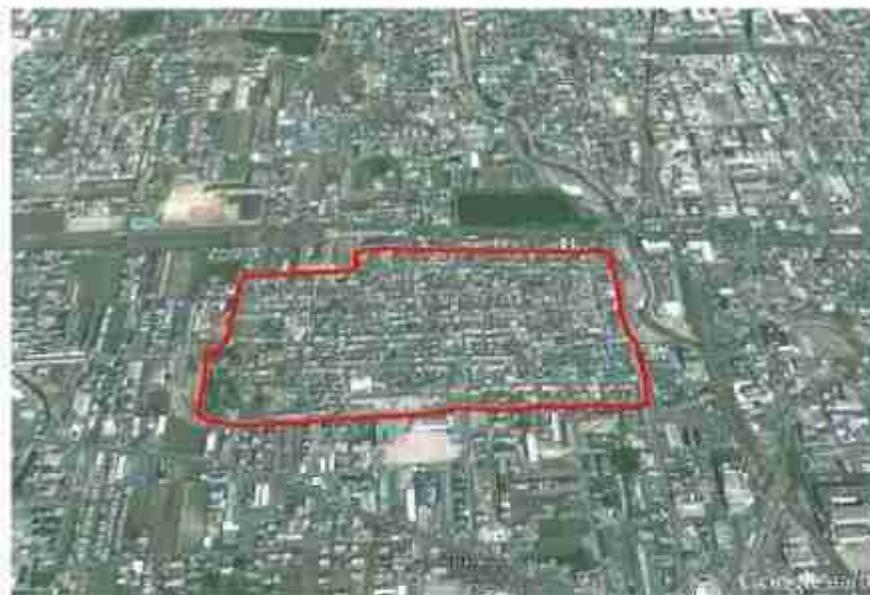
## 橿原市今井町 寺内町「今井」

現在も一般の方々が生活する生きた町であるのも魅力



中世の環濠集落を発祥とし、称念寺を中心とした寺内町として発展した「今井」。江戸時代にも自治が行われてきた日本でも極めて珍しい歴史を持つ町である。

戦国時代には高い軍事力を誇った今井町は環濠で囲まれており、あたかも城塞都市の雰囲気。織田信長と敵対して、本願寺とともに抗戦の構えも見せたが降伏し、町存亡の危機に直面したが、今井町ゆかりの今井宗久らのとりなしもあって町はそのまま残され、商業都市として引き続き発展。現在も広大な領域に戦国時代、江戸時代からの町並みと道路がそのまま残っている(基本的には16世紀のままと聞く)。1993年に重要伝統的建造物群保存地区に指定され、約500棟が昔からの建築であり、重要文化財8棟、県文化財2棟、市文化財4棟がある。現在も一般の方々が生活する、生きた町であるのも魅力。



写真やTVのコマーシャルなどで出てくる落ち着いた町並みに常々一度訪れたかった町である。

権原へ行く機会に叡傍山に登ろうと地図を広げていて、叡傍山のすぐ北側 JR桜井線の南に碁盤の目の町割が残る「今井」の地を見つけて、帰りに立ち寄ってきました。

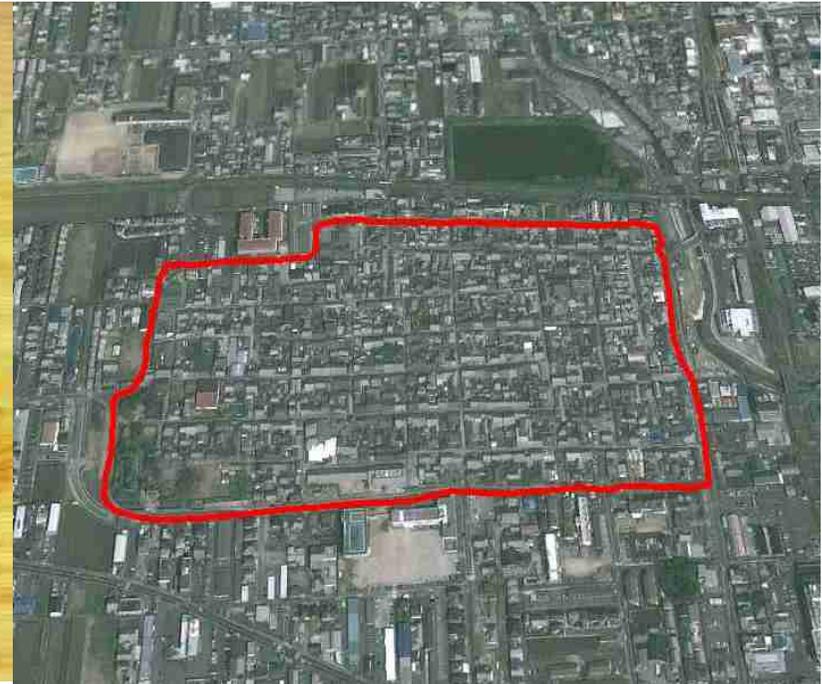
寺内町「今井」はあまりにも有名なので、町並みは残るにしても、町並みそのものが観光化していると想像していたのですが、寺内町「富田林」もそうでしたが、昔の環濠に囲まれた古い町並みの中でかつての賑わいはありませんが、ごく普通に一般の人が生活している静かな集落。碁盤の目の町並みとはいえ、かつての武装都市。両側にびっしり商家が建ち並ぶ街中の道はいたるところでカギ状に折れ曲がっており、街中を貫く広い道が作れなかったことが、この落ち着いた町並みを残したのだろうか……。もっとも、そのため、交通の発展・そして車社会の展開から取り残され、今の町並みが残ったともいえる。

街中に車が入れないというのでなく、ちょうどヨーロッパの都市の旧市街地と同じで、対向車がすれ違える程度の幅を持つ道が碁盤の目状に町割されていて、生活道路として車は走れるのですが、通常の街中を猛スピードで走り抜けられない。日本の車社会そして都市が転換期にある今、この落ち着いた町並みが本当の町並みではないか……。と。

重要伝統的建造物群の町並みを観光・商業化車優先で生活空間が忘れ去られた日本の都市を新たに見直す、いい手本と思えた寺内町「今井」ではないか……。と。



## 重要伝統的建造物群保存地区 寺内町「今井」



戦国時代 一向宗(浄土真宗)称念寺を中心とした寺内町として誕生した「今井」は 何度か焼き討ちにもあうが、文禄年間には戸数1100軒人口約4000数百人を要する町に発展。

一向宗と敵対する織田信長に対抗するため、東西600m、南北310mの周囲に環濠土居を築き、西、南、東、北、新、今の六町に整然と町を分割、9つの門から木橋を渡って濠を渡り、外部の道路と連結。内部の道路で見通しのきくものではなく、ほとんどが一度屈折させて敵の侵入に備える」武装宗教都市を完成させ、財力豊かな町として大いに発展した。

本願寺の降伏に伴い、武装放棄しましたが、街はそのまま残り、江戸時代には商工業都市としてさらに発展。

俗に、「今井千軒」「海の堺 陸の今井」と呼ばれるほどの財力を持ち、江戸幕府も一目おく自治都市になっていった。

この今井の繁栄は明治維新により富豪が消滅し、大正時代の鉄道開通で町の賑わいが大きく変化してゆくまで続いた。

現在は かつての寺内町の町割もそのままに、江戸時代以来の伝統様式の町並みがそっくりそのまま残している。

慶安3年(1650)の今西家をはじめ、すぐれた民家が数多く建ち並び、今なお、町全体が戦国時代にできた寺内町の歴史の重さをずっしりと感じさせている。しかも、この町並みの中で今も通常の暮らしが営まれているのも魅力です。



### 南に畝傍山、すぐ傍を飛鳥川が北へ流れ下る寺内町「今井」の入口で

寺内町「今井」は畝傍山のすぐ北側 南へ流れ下る飛鳥川の西岸にあり、すぐ北側に東西に走る桜井線の鉄橋・川に沿って東側を近鉄橿原線が走る。近鉄八木西口駅・JR畝傍駅が 寺内町「今井」の北東側すぐ 飛鳥川対岸にある。

近鉄八木西口駅を出るとすぐ西に飛鳥川の土手で、桜井線鉄橋の傍に「今井町」の案内板がある。有名な寺内町「今井」なので、観光名所化しているとおもっていましたが、ひっそり案内板があるだけ。「今井」の町の中もまったく同じで、観光化した町並みを創造していたのですが拍子抜け。

伝統的な住居群が立ち並ぶ町並みの中で 今井の人たちがごく普通に暮らしている街。

土産物屋も 町並みを利用した喫茶店もレストランもない。もう びっくり。

落ち着いた静かな町並み 寺内町そのものが今井の普通の暮らしの中にそっくりそのまま残っている。

奈良の観光地の真っ只中で 伝統的な住居群の中で、暮らすには規制もあり、大変なのでしょうが……。

商業化・観光化させずに町並みを残すには住民の協力なしにはできない。

テレビや写真などで見る町並みと暮らしが 何の演出もなしに目の前に広がっている。

寺内町「今井」の重要性をいまさらながら感じました。



2013.5.25. by Mutsu Nakanishi



八木西口の駅をでるとJR桜井線の鉄橋が架かる飛鳥川の東岸  
その傍らに寺内町「今井」の案内板がひっそり建っていました 2013.5.25.



南に畝傍山、すぐ傍を飛鳥川が北へ流れ下る寺内町「今井」の入口 2013.5.25.



今年北陸鉄道新幹線地区

# 今井町

現在地  
●●●●●●●●



- 1. 今井町役場
- 2. 今井町立図書館
- 3. 今井町立公民館
- 4. 今井町立体育館
- 5. 今井町立中学校
- 6. 今井町立小学校
- 7. 今井町立保育園
- 8. 今井町立児童館
- 9. 今井町立老人福祉センター
- 10. 今井町立障害者福祉センター



重要文化財

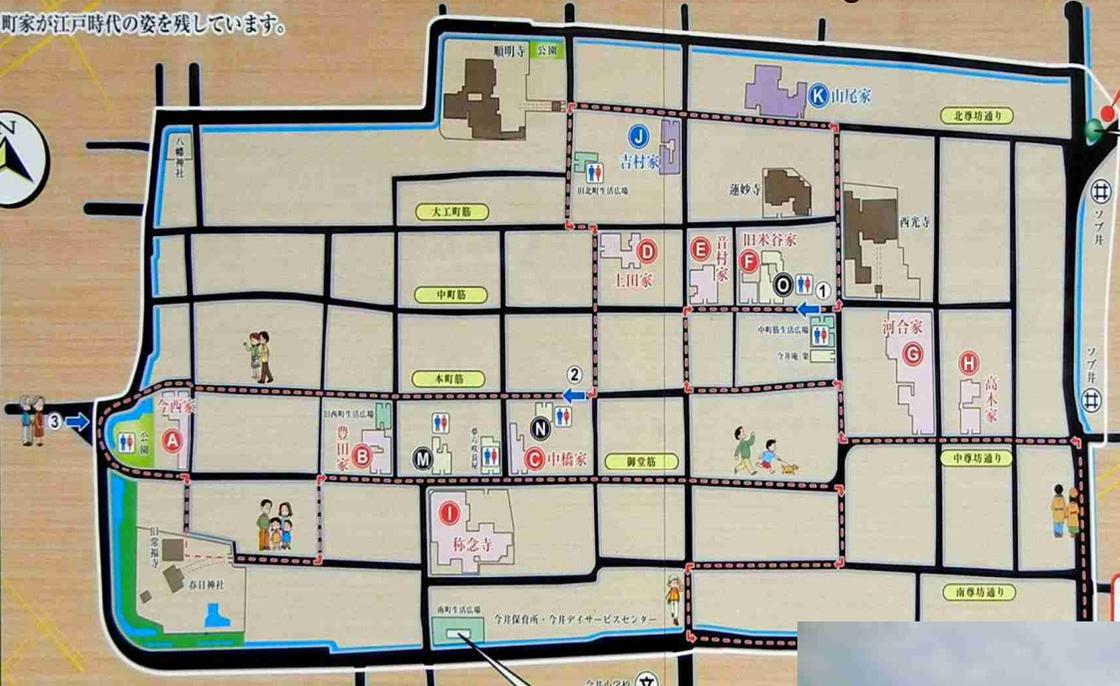
- A 今西家
- B 豊田家
- C 中橋家
- D 上田家
- E 音村家
- F 山本谷家
- G 河合家
- H 高木家
- I 称念寺

# 重要伝統的建造物群保存地区

# 今井町

現在地  
はな いらか  
まずは華 薨へ

かつて「大和の金は今井に七分」といわれるほど繁栄した今井町は、東西600m、南北310mの大きさで、その周囲には環濠が巡らされていました。現在も、大半の町家が江戸時代の姿を残しています。



写真撮影  
おすすめ  
スポット!

- ① 中町筋
- ② 本町筋
- ③ 復元された環濠と今西家



至 近鉄八木西口駅



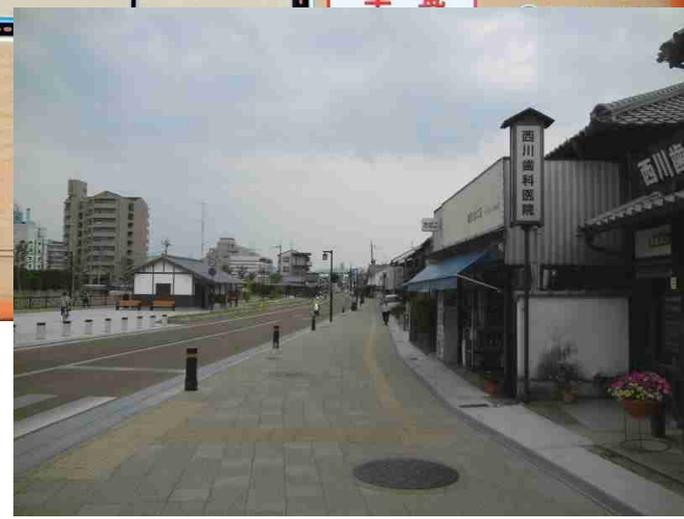
QRコード



重要伝統的建造物群保存地区  
重要文化財めぐりルート  
【約2時間コース】

はな いらか  
華 薨

今井の町はこの土手の右手一帯に広がっている  
夕方に行ったこともあって 観光客はほとんどいない  
落ち着いた伝統的建造物群の町並み散策ができました







高木家・河合家が並ぶ中尊坊通り



河合家住宅





通りの左側の白い屋根が現在修復中の称念寺  
残念ながら修復中で境内に入れませんでした







今井は碁盤の目に整然と町割されているが、  
街中の路はいたるところで「がぎ状」に折れ曲がって、走り抜けられない









## 「今西家住宅」

今井の惣年寄筆頭をつとめた家筋である今西家の邸宅。

慶安3年（1650年）に建てられた「八つ棟」と呼ばれている建物で、国の重要文化財に指定されている。

本町筋に面した建物は、白漆喰塗りの外壁で、入母屋造り破風を前後くい違いにみせ、本瓦で葺いた城郭のような外観をもつ。中は柱をたてず広い空間があるのが特徴で、ここで裁判が行われ、いぶし牢（拷問部屋）も残っている。











旧米谷家住宅





蓮妙寺

# 今井・寺内町

重要伝統的建造物群保存地区



今井町は、東の肥前川、西の曾根川に挟まれた海抜約六十メートルあり、大和三山が奥座される位置にある。十六世紀中頃の築、一向宗の寺内町として発達したが、再度の秋火をへつ、商業都市としての変貌をとり、江戸時代は太田に属した町である。曲年寄の合議制で運営され、郡と並ぶ自治都市であった。開闢を源と主座で開闢、九つの門を開いた振興基町の形をとっていた。旧境内には、今政府約六百五十坪の江戸時代以降の伝統的な様式を採つ町家が、古い町割りも揃って残存しており、これが発った地区は、全国的にも例はなく、平成五年十二月「重要建造物群保存地区」に指定されている。近年を始めた修繕、慶安三年建造、重要文化財「を飾る多くの指定建造物があり、これらに準じる町敷も多く残されている。

- |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 山王門  | 寺内門  | 山王通り | 寺内通り | 山王門跡 | 寺内門跡 |
| 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 |
| 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 |
| 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 |
| 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 |
| 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 |
| 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 |
| 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 |
| 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 |
| 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 | 山王門跡 | 寺内門跡 |

平成十四年八月 松原市教育委員会 日本伝統文化振興会



近鉄八木駅

重要伝統的建造物群保存地区  
橿原市今井 寺内町「今井」町並 Walk

2013.5.25.

《 おしまい 》

JR桜井線

近鉄八木西口駅

飛鳥川

近鉄八木西口駅

奈良 下街道(大和高田/五条・和歌山)

国道166・24

Image © 2013 DigitalGlobe

Google earth